

看板娘

中野 和哉

[登場人物]

- ・ 銀紙で包まれたハート形のチョコレート
- ・ 普通の板チョコレート
- ・ 女の子店員
- ・ 「バレンタイン、気になる彼にアプローチ！」と書いたギャルをかたどった看板
- ・ 店長
- ・ 男の客

看板とチョコレートの擬人化演劇。

暗転した舞台。

コンビニ内のアナウンスの声が響く。

「いつもはただの友達だけど、今日からは少し、近づけるかな。
バレンタイン、気になるカレにアプローチ！」

ファミリーマートの入店音。

「バレンタインデイ・キッス」が流れる。

明転。

舞台には女子高生をかたどった看板の役の役者。

首から「バレンタイン。気になるカレにアプローチ！」という札がかかっている。

看板娘 ヒマだわー。

看板娘は、行き交う人々を眺める。

看板娘 チョコレート買おうー。
 気になる彼にアプローチだよー。
 おーい。そこ。もうすぐバレンタイン終わるぞー。
 好きな男ぐらいいるだろー。ラストチャンスだぞー。

板チョコが登場する。

板チョコ どうですか。

看板娘 ダメだね。誰もバレンタインコーナー来ないね。

板チョコ そうですか。

看板娘 ごめんね。

板チョコ 看板さんのせいじゃないですよ。

看板娘 でも、私が、そこらの段ボールみたいにみすばらしいから。

板チョコ そこらの段ボールですからね。

看板娘 あの子が倉庫の段ボールで作ったからね。

板チョコ あの子の絵心、いまひとつですよ。がんばった感はあるけどね。

看板娘 (プレートを指して)この売り文句と合っていないよね。

板チョコ 合っていないですね。

看板娘 ふつうこういうのって、もっと清楚系の女の子の看板つくるよね。

板チョコ (看板娘を見て)なんかギャルっぽいですからね。

看板娘 このギャップ不気味だよ。

板チョコ もっとキラキラしてたらいいんじゃないですか。

看板娘 こう?(キラキラ目を輝かせる)

板チョコ キャラの壁ってありますよね。

看板娘 うるせえよ。

板チョコ いやすんません。でも僕も外してますよ。

僕だってこの時期、完全にキャラ外してますもん。

看板娘 ふつうのチョコだもんね。

板チョコ まあでも、それで売れなくても気持ち楽ですけどね。

でも、あいつは…

ハート型のチョコレートが登場。落ち込んでいる。

ハートチョコ わかってるんですよ。ダメなんでしょう。

看板娘 ごめん。

ハートチョコ やっぱり。

板チョコ 落ち込むなよ。

ハートチョコ もう落ち込むのも面倒くさい。

板チョコ 腐るなよ。チョコレートは、そんな簡単に、腐らないんだぜ。

ハートチョコ いっそうむごいよ(このセリフは大河内ワードにしてほしい)。

おまえはいいよ。明日からでも売れるから。

でも、明日俺を買う人いるか?

板チョコ (目をそらす)…

看板娘 (目をそらす)…

店員の女の子が入ってくる。

看板娘をながめる。

無生物連合は静かにざわめく。

女の子 いいなあ。
看板娘 何が!?

女の子は看板娘を撫で、ハートチョコを眺める。
少し考える。
無生物連合は静かにざわめく。

女の子 売れ残り…

ハートチョコはなぐりかかろうとするが、板チョコに止められる。

女の子 店長一。

店長が入ってくる。

店長 どうしたの平川さん。
女の子 これ、売れ残ってますよ
店長 あ、そうだね。今日売れないと、もったいないよね。
女の子 捨てちゃうんですか。
店長 バレンタイン過ぎたら誰もハートチョコ買わないでしょ。
女の子 そうですか。もったいないですね。
店長 あ、平川さん、いる？
女の子 え、いいんですか。
店長 いいけど、あげる相手いるの？
女の子 えーひどーい。好きな人ぐらいいますよー。
店長 あ、そうなんだ。
 あ、じゃあ、バレンタインデーにバイト入れちゃまずかったかな。
 悪いね。
女の子 いいですよー。向こうも仕事なんで。
店長 そうなんだ。
女の子 (下手を指して、行こうとしながら)あ、レジ。
店長 おれが行くよ。

店長は下手に去る。

女の子は店長が去った方向を向いて、小さな声で、聞こえないように言う。

女の子 好きで一す。

看板娘、板チョコ、ハートチョコはびっくりする。
かわいい感じで店長の後を追って下手に去る。

看板娘 やっばい。これかわいい。
板チョコ いいもの見たな。
ハートチョコ どこがいいんだろう。
看板娘 どこかがいいんだろうね。
ハートチョコ これ、俺は捨てられることはなくなったな。
板チョコ あ、そうだね。
看板娘 逆に、売れると困るよね。
ハートチョコ そうだね。

客が下手から入ってくる。
男である。

男 (歌って)チョココレイト、チョココレイト、おれは、もててる、つもり。

言いながらハートチョコを手取る。

無生物連合 コラァ！

男はびっくりする。
しかし、自分も何におどろいたのかがわからない。

板チョコ 女の子ならまだしも、おまえが買うな。
ハートチョコ ひとでなし！
看板娘 それうちらじゃない？
無生物連合 あっはっは。
男 (歌って)もててる、かんじを、演出

言いながらハートチョコを手取る。

無生物連合 コラァ！

男はびっくりする。
しかし、自分も何におどろいたのかがわからない。

男 あの、すいませーん(店員を呼ぶ)。
女の子 どうしました？
男 あの、ハート型のチョコレートを…(女の子を見て)…

ぼくにプレゼントしてくれませんか。

女の子 え…

無生物連合は男にプレッシャーをかける。

男 (奇妙なプレッシャーを感じながら)
お…おたくは商品にどう教育をしてるんですか。
女の子 あの、意味が…
男 ひ、ひどい店だ。いいか、この店の悪口を言われたくなければ、
これをラッピングして体育倉庫で俺に
店長 (登場して) どうしましたか。
男 彼氏持ちかよ！ ちくしょう！
(下手に去りながら) 今日はバン・アレン帯の誕生日なんだ！

男は下手に去る。

板チョコ バン・アレン帯？
店長 彼氏とか、ねえ。
女の子 あはは。

店長と女の子は下手に去る。

板チョコ 追い返しましたね。
看板娘 ざまあみろ。
ハートチョコ 売られないようにがんばるって、不思議だね。普通逆だよな。
看板娘 ああそうだね。でも私は…売るべきなんだけどね。
板チョコ 看板娘ですからね。
ハートチョコ でも、あの子の愛のために、今日のところは。
看板娘 愛ね…
板チョコ 好きな人がいるってのはええことやね。
看板娘 きみは好きな人っているの？
板チョコ 僕は、まあ、キャンディーさんとか好きですけど。
看板娘 え、そうなんだ。
ハートチョコ えっ。どの。
板チョコ のど飴の、カンロさん。
ハートチョコ あ、そうなんだ。
看板娘 よく出会いあったね。いま棚が違うでしょ。
板チョコ バレンタインキャンペーンの前まで同じ台だったんですよ。
ハートチョコ そうなんだ…
板チョコ 3か月ぐらい付き合ったんだけど

ハートチョコ 付き合ったの！？
板チョコ 何を驚いてるんだよ。
ハートチョコ いや、どうやって付き合ったのかなって。
板チョコ たしかに。何が付き合ってる状態で、何が付き合っていない状態かって、わかんねえよな。
看板娘 あ、わかるー。距離が微妙なときって、あるよね。
でもそういうときこそ楽しいよね。
ハートチョコ たしかに、熱くなる。
板チョコ 僕ら気を付けないと溶けるけどな。
ハートチョコ そういえば、このまえゴーゴーカレーのルー売られてたよね。
看板娘 ああ、あったね。
ハートチョコ チョコレートが溶けたみたいな色してなかった？
板チョコ ああ、そうかも。
看板娘 溶けたらカレーに近くなるんだ。
板チョコ (プレートを指しながら)気になるカレーにアプローチ、みたいな…

無生物はしらける。

看板娘 よくそれで付き合えたね。
板チョコ ふられましたけどね。
ハートチョコ 何て言ってふられたの。
板チョコ 「私、笑うのに疲れたみたい」って言われた。
看板娘 …(話題を変えるように、ハートチョコに)君は好きな人いるの。
ハートチョコ ぼくは、看板娘さん好きですけど。
看板娘 ええっ！
ハートチョコ ど　　っちにしろ、僕は明日でいなくなりますから。
看板娘 私もそうけど…
ハートチョコ 好きです。
看板娘 お、おう。いや、ありがとう。でも私ら種族が…
ハートチョコ すんませんね、何か、困った空気にしちゃって。
看板娘 いや、うれしいっちゃうれしいよ。
ハートチョコ ああ。

困った感じ。
店長が入場。ハートチョコと看板娘の間に立つ。邪魔。

店長 ギャルはいいなあ。

店長は去る。

ハートチョコ　　なんだあれは。
板チョコ　　店長、たぶんギャル好きだな。
　　　　　　　あつ。だからあの子、看板さんにいいなあ、って。
ハートチョコ　　(看板娘に)どうしますか。店長と俺、どちらを選びますか。
看板娘　　(呆然としながら)その選択肢しかないの。(二択…? とかでもいい)

無生物たちは緊張の一瞬。

ハートチョコ　　実らない恋も、ありますよね。
板チョコ　　お前、あきらめるのか。
ハートチョコ　　そういうんじゃないけど、実らない恋もあるなって。
看板娘　　…ごめんなさい。なんか、わけわかんなくて…
板チョコ　　そうだと思うよ。
ハートチョコ　　(店長と女の子が入ってくるのを予感するように)
　　　　　　　実る恋も、あっていいですよ。

店長と女の子が下手から入る。

店長　　じゃあ平川さん、あがろうか。
女の子　　けっきょく売れ残りでしたね。このチョコレート。
店長　　じゃあ平川さん、これ、あげます。
女の子　　えへへ。店長、じゃあこれ、あげます。
店長　　え、いいの? あれ、ちょっとこれは、いやははははは、ええ?
　　　　　いやはははははは。

「バレンタインデー・キッス」が流れる。
ハートチョコは恥ずかしそうに店長に送られる。
店長はおどろきながらもうれしそうである。

終劇。